

スパークタイムズ 第1号

平成25年4月28日
市議会議員 坂澤博光

1 平成25年3月議会で、一般会計予算195億9千万円、補正予算26億5百万円を可決しました。

2 各務原市が向かう方向

キーワードは、「ささえ合う心」です。

昭和38年に那加町、稲羽町、蘇原町、鶯沼町の合併により各務原市が誕生し、本年度で「市制施行50周年」を迎えます。

この50周年を節目に、各務原市は、人を思いやり助け合う心、古来より日本人が強みとしてきた「ささえ合う心」に着目し、それを補い支援する方向で市政運営します。

平成25年度は、これまで推進してきた都市基盤整備、シビルミニマム、産業・観光振興、人づくり（子育て、教育）、安全・安心、文化・歴史・芸術・スポーツ振興などの施策を進めつつ、次の3点を重点的に進めます。

(1) 「市制施行50周年記念」事業

人と人、家族、地域の繋がりを促す事業で、27事業約8300万円の予算です。

(2) 「各務原ブランド」推進事業

各務原市に住んで良かった、住みたいと思える町づくりをする事業、及び、各務原市の魅力を再発見する事業で、36事業約7億5千万円の予算です。

(3) 「健全な財政力」の堅持

皆様に必要な行政サービスを推進しつつ、未来につけを残さない財政にします。

3 議会での一般質問

3月4日会議資料が渡され7日までに質問の通告が必要で、準備不足ではありましたが、「挑戦することに意義がある」と考え一般質問をしました。

(1) 夢ある都市推進事業について

・問：この事業は、地域の人や団体のやる気を引き出すのに有効な事業だと思います。

この事業を地域に知らせる方法や審査基準、次年度以降の計画は。

・答：ホームページや広報各務原で知らせる他、関係各所に応募書類を置いておきます。

その他、クラブ・サークルの団体に、直接、職員が説明します。

補助事業に公平性を保つという観点から、庁内だけでなく外部審査員を交えて審査します。

審査基準は次の4つです。

・市内在住、在勤、在学であること

・市政施行50周年記念に関して大きな効果が期待できること

・実施体制が十分で事業を確実に実施できること

- ・経費の積算などが適切であること

市民の皆様からの積極的な取り組みは、市の活性化にも大きくつながります。

「大変だったけど多くの人々に喜んでもらえた」、という達成感を持ってもらうことは地域の人々のやる気を起こす引き金となります。

議員からの提案を踏まえ、今年度の成果を検証した上で今後の行政による支援の在り方について検討します。

(2) 小中学校における「いじめ防止」について

- ・問：大津市のいじめによる自殺報道を受け、いじめ防止に関して、教師や職員、子供たちに対して取られた対策と今後の対応は。

・答：大津市の事件を受け、無記名アンケートの実施、悩み相談ポストの活用、いじめ発見や対応のスキルを強化する教員研修により未然防止と早期発見に努めています。

発見したら、いじめ対応マニュアルに基づき、担任だけでなく組織で対応するとともに、状況によっては教育委員会が中心となり警察や子供相談センターなどと連携し、より早い対応と終結に力を入れています。

平成 25 年度においては、小学校 3 年生以上と中学生を対象に、いじめの発見に効果的な QU (Questionnaire Utilities) テストを実施します。

その結果を分析し、支援の必要な児童生徒や学級全体への指導に活かしていきます。

4 調べたこと

問：各務原市の税金は、他市に比べてどうなのか？

答：皆さんからいただく税金は法律で定められており、法人市民税(会社や団体が支払う税金)を除けば、他市と変わりません。

一般的なケースでは次のように決められています。

- ・個人市民税は、均等割(全員同じ額)と所得割(所得に応じた額)からできており、この額を県民税と一緒に払っています。

市民税の均等割の部分が年間 3,000 円、県民税が 2,000 円です。

市民税の所得割の部分が課税所得金額の 6%、県民税の部分が 4%です。

- ・法人市民税は、支払う税率に幅があり他市と同じではありません。

税率は岐阜市、大垣市、高山市、可児市は法人税額の 12.3%、多治見市、瑞浪市、土岐市の 14.5%、各務原市、関市、美濃市、中津川市、羽島市の 14.7%になっています。

- ・固定資産税は、課税標準額の 1.4%です。
- ・軽自動車税は、原動機付自転車や軽自動車などの車種に応じて決められています。
- ・市たばこ税は、売れたたばこの本数に応じて決められています。
- ・都市計画税は、市街化区域に所在する土地、家屋が課税対象で、課税標準額の 0.3%になっています。

注：「スパーク」は、私が航空自衛隊の戦闘機パイロット時代に使っていたニックネーム(ニックネーム)で、「スパーク」からの通信文という意味で「スパークタイムズ」にしました。